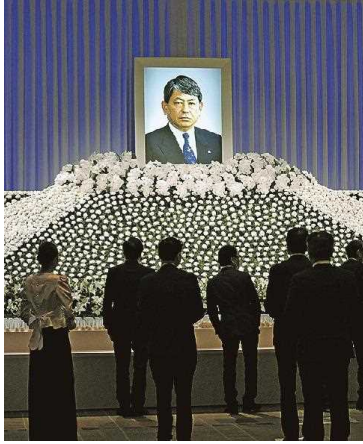


2020年11月25日 1面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#)

故岡部正嗣氏（前田道路特別顧問）お別れの会開く／1200人が弔問



前田道路の特別顧問で1月9日に81歳で死去した岡部正嗣氏の「お別れの会」が24日、東京都千代田区の帝国ホテル東京で開かれた＝写真。業界関係者など約1200人が弔問に訪れ、祭壇に献花して故人との別れを惜しんだ。

岡部氏は1938年に福岡県直方市に生まれた。64年に日綿實業（現双日）に入社。前田産業（現光が丘興産）、前田建設などの取締役を歴任した。92年に前田道路代表取締役副社長、94年には同社の社長に就任した。

社長就任時の所信では「請負人に求められる最も大切な原点はお客さまに満足を売ることである」と訓示。社員と問題意識を共有する機会を持つため全国の支店や営業所、合材工場へ熱心に足を運んだ。バブル崩壊後は企業の倒産などが相次ぐ中でも「最前線で地に深く広く根を張り一生懸命に努力してくれている現場の従業員は猛者ぞろいだから、当社の経営は絶対に揺らぐことはない」と断言。社員と共に難局の打破に尽力した。

業界の発展にも情熱を注ぎ、日本道路建設業協会常任理事、日本アスファルト合材協会会長などを歴任した。

記事ID：3202011250105

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます